研究課題名	潰瘍性大腸炎に対する回腸嚢肛門吻合術後の静脈血栓塞栓症と周術期 D-dimer 値の関連に関する後ろ向き観察研究
研究期間	2026 年　10 月　20 日　～　2030 年　3 月　31 日
研究の対象	2010 年 1 月～2026 年 7 月の間に広島大学病院消化器外科で潰瘍性大腸炎に関して回腸嚢肛門吻合術の治療を受けられた 18 歳以上の方
研究の目的・方法	研究目的：潰瘍性大腸炎に対して回腸嚢肛門吻合術を施行した患者を対象として、術後早期に発生する静脈血栓塞栓症の頻度および解剖学的分布を明らかにするとともに、周術期に測定された D-dimer 値と術後静脈血栓塞栓症との関連を検討します。さらに、術後各時点の D-dimer 値の静脈血栓塞栓症診断・予測能を評価し、造影 CT などの画像検査を検討すべき患者を選別するための指標としての有用性を明らかにします。 研究の方法：広島大学病院において実施する単施設後ろ向き観察研究です。研究対象者の電子診療録、手術記録、麻酔記録、血液検査結果および画像検査結果から、患者背景、潰瘍性大腸炎に関する臨床情報、手術関連因子、周術期治療、術後血液検査値および術後静脈血栓塞栓症の有無を収集します。 静脈血栓塞栓症については、術後造影 CT 画像および画像診断報告書を用いて評価します。静脈血栓塞栓症には、門脈・腸間膜系静脈血栓症、肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症を含める。症状の有無にかかわらず、画像上静脈血栓塞栓症を認めた場合を静脈血栓塞栓症ありとします。 血液検査については、通常診療として術後に測定された D-dimer 値を収集し評価します。術後各時点の D-dimer 値による静脈血栓塞栓症識別能を評価します。本研究のために新たな採血、画像検査、治療介入等は行わず、通常診療において既に取得された情報のみを使用します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、画像検査結果、病理結果等 情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科外科学　教授　髙橋信也
利用または提供を開始する予定日	2026 年 10 月 20 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。

外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 　広島大学大学院医系科学研究科外科学　教授　髙橋信也
その他	利益相反なし。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院　消化器外科 担当者：久原佑太、上神慎之介 〒734-8551　広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5216